

## 企業概要

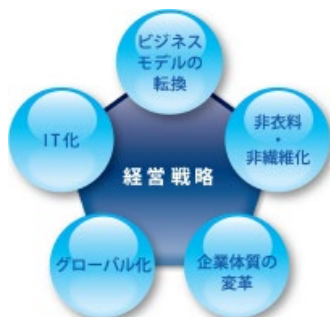
繊維技術をコアコンピタンスに、車輻資材、スポーツ・ファッション、エレクトロニクス、メディカルなど、多彩なフィールドで事業を展開。自社のシーズを顧客の求めるニーズにつなげ、**オンリーワン商品、世の中を変える商品**を打ち出す、日本を代表する総合繊維メーカー。

代表者：川田 達男（代表取締役会長）  
創業年：明治22年（1889年）  
事業内容：総合繊維業  
従業員数：1,609名(単体) 6,121名(連結)

住所：福井市毛矢1丁目10-1  
電話番号：0776-35-2111  
HPアドレス：<https://www.seiren.com/>



## “企業マインド”で成長を続ける



経営理念である「のびのび（自主性）・いきいき（責任感）・ぴちぴち（使命感）」、そして5つの経営戦略「ビジネスモデルの転換」「非衣料・非繊維化」「IT化」「グローバル化」「企業体質の変革」を企業マインドとし、繊維の企画・製造・販売の「流通ダイレクト化」を実現するとともに、旧カネボウから繊維事業を買収することで「原糸」から「最終製品」までの「一貫生産体制」を構築し、総合繊維メーカーとして成長を続けています。

## 「繊維の将来宣言」Pick Up!

### 自社の強みを生かした経営で価値を高める

・原糸から最終製品までの一貫生産体制によりユーザーニーズに即応し、他社との差別化を図る。

### 「メイドインジャパン」に満足するのではなく、独自の価値を世界に発信・提供する

・川下ユーザーと一体となり、世界各地に拠点を置いて事業展開を行う。

### あらゆる分野で繊維の可能性を探究し、常に新しく付加価値の高いものづくりを実践することにより、技術革命を起こす

・繊維技術を核としつつ、車輻資材（シート、エアバッグ、インストルメントパネル等）、スポーツファッション、環境・生活資材、エレクトロニクス、メディカル等、様々な分野へ活躍のステージを拡げる。

### 繊維産業が技術とクリエイティビティが融合する最先端の分野であることを広く発信する

・デジタルプロダクションシステム「Viscotecs®（ビスコテックス）」により小ロット・短納期・在庫レスを実現。  
・繊維の可能性を探り、東京大学や福井県等との連携により航空宇宙分野へ進出する。

### 持続可能な繊維産業の在り方を模索し、社会課題の解決に貢献する

・生産現場にバイオマスボイラーを導入してカーボンニュートラルに貢献する。  
・リサイクルポリエステル、バイオポリエステル等の次世代環境対応素材の開発。

## 【一貫生産体制の確立】

繊維産業には「原糸」「編・織」「染色・加工」「製品化」の工程がありますが、1970年代までは「染色・加工」しか行っていませんでした。しかし、1988年に経営改革を行い、一貫生産体制を敷くことで品質・コスト・デザイン・納期・環境等において一貫したマネジメント体制を確立することに成功しました。

## 【海外での事業展開】

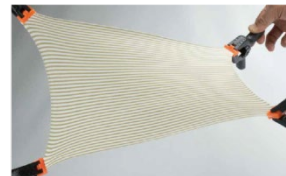
最終消費者である世界人口の動向、そして川下ユーザーからのニーズに即応することを鑑み、いち早く海外進出に着手。アジア・北米を中心に中南米・欧州にも進出（2021年時点で日本以外の世界9カ国に19拠点）。現在はハンガリーにも製造拠点を建設中です。2021年度の国内と海外の売上高構成比が44:56と、海外売上高が国内を上回り、海外進出の有効性を証明しています。

## 【繊維技術を活かした新素材への飽くなき挑戦】

車輻資材の分野では、セーレンの素材開発力によって生み出された素材特性、幅広い意匠表現、機能性を持つ、本革を超えた環境にやさしい素材「QUOLE®（クオーレ）」を開発。またスマホなどエレクトロニクスを支える素材として、電磁波シールド材や安定した通気性・通音性・防水性を併せ持つ機能性フィルム、「繊維」の柔軟性と「金属」の導電性を兼ね備えた機能性コンジット材を開発するなど、幅広い分野で新素材への挑戦を続けています。



合成皮革「QUOLE®」



次世代フレキシブル導電素材「メタフレックス」

## IT技術との融合「Viscotecs®」

### “Viscotecs®”（ビスコテックス）

企画・製造・販売まで一貫した独自のデジタルプロダクションシステム。小ロット、短納期、在庫レス、オンネット、カスタマイズを実現し、「欲しいものを・欲しいときに・欲しいだけ」作る環境に優しい究極のビジネスモデル。100年を超える技術と最先端のITの融合により、世界に1着のオーダーメイドから、グローバルオーダーの大量生産まで、あらゆるプロダクションシステムへの応用が可能。アパレルはもちろん、車輻資材、建築資材、インテリア資材、広告資材など様々な分野で活用されています。



### ←小売業界が抱える「在庫」の課題を解決する新しいビジネスモデル

等身大のモニターとタブレット端末を用いて、モニター上でバーチャルに試着しながら洋服のシルエット(型)、柄、色を個人の好みに合わせ、47万通りに及ぶ組み合わせの中から自分に合った一着を発注し生産する仕組みを構築。このビジネスモデルをBtoBへも拡大する。

## 今後に向けて

繊維が活躍できる分野は無限です。2016年より、東京大学、福井県などと連携し、超小型人工衛星開発・製造を行っています。2021年には人工衛星グループを新設し、組織力の強化を図っています。



また、素材分野においても地球温暖化等の環境対応が求められる中で、研究開発から生産、販売に至る、全ての工程における不断の改善活動に加え、リサイクル性、生分解性の機能をもったバイオポリエステル素材や有機溶剤を使用しない合成皮革の開発にも力を入れ、省資源、脱石油、無公害の社会実現に貢献していきたいと考えています。